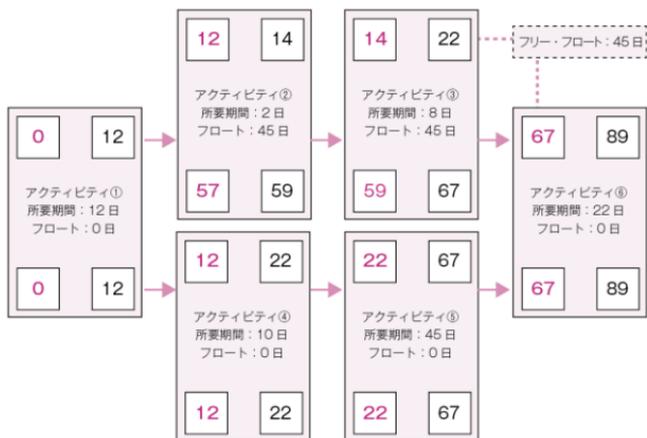


『PMPパーフェクトマスター PMBOK第6版対応』(初版第1刷)正誤表
(2019年2月27日現在)

- 72 ページ 練習問題 3-4 B 他社 → 他者
 - 89 ページ表 プロジェクトマネジメント計画書 13 4 行目 WBS 文書→WBS 辞書
 - 90 ページ表 アウトプット ③課題ログ を挿入 (以降項目番号ずれる)
 - 100 ページ 表 インプット ④合意書 を挿入 (以降項目番号がずれる)
 - 140 ページ 表 プロジェクト・スコープ記述書の 1 行目
プロジェクト・スコープ記述書 → プロジェクト・スコープの記述
 - 141 ページ 表 インプット ④組織の環境要因 を削除 (以降番号ずれる)
 - 142 ページ 下から 6 行目
- 要素分解は、プロジェクトの→要素分解は、プロジェクト・スコープやプロジェクトの
- 145 ページ 上から 7 行目 コントロール・アカウント → コントロール・アカウント
 - 151 ページ 上から 2 行目 是正措置、予防措置 → 是正処置、予防処置
 - 162 ページ本文下から 3 行目
- アクティビティ所要期間見積りプロセス → アクティビティ資源の見積りプロセス
- 182 ページ 上から 2 行目 各種ツール) → 各種ツール(手動と自動)
 - 187 ページ 図 数字 12 か所訂正 (赤字部分)



- 195 ページ 上から 9 行目 (ベロシティー) → (ベロシティー)
- 213 ページ 上から 22 行目 記録手順き → 記録手続き
- 217 ページ 上から 9 行目
プロジェクト・タイム・マネジメント → プロジェクト・スケジュール・マネジメント
- 217 ページ 下から 6 行目、三角分布の場合の公式
所要期間(期待値) → 期待コスト(期待値)

218 ページ ベータ分布の場合の公式

所要期間(期待値) → 期待コスト(期待値)

- 225 ページ 図 訂正(赤字・濃い赤線部分)

プロジェクト 予算	マネジメント 予備			
	コスト・ ベースライン	コントロール アカウント	コンティンジェンシー 予備	アクティビティの コンティンジェンシー 予備
			ワーク パッケージの コスト見積り	アクティビティ・ コスト見積り

- 237 ページ 設問文 上から 7 行目 \$5000,000 → \$500,000
- 268 ページ 上から 8 行目 マネジメント計画で → マネジメント計画書で
- 270 ページ 解説文下から 2 行目 Dは、 → Cは、
- 308 ページ ②コンフリクトの解消 → ・コンフリクトの解消 (以降番号ずれる)
- 344 ページ 表中 ツールと技法 ③データ表現を挿入(以降番号がずれる)
- 346 ページ 下から 14 行目
作業プロジェクト報告書 → 作業パフォーマンス報告書
- 357 ページ 上から 5 行目 総合的リスク → 統合的リスク
- 365 ページ 表 インプット(③、④)を新たに追加、以降番号がずれる
③組織体の環境要因 → ③合意書
④調達文書
- 366 ページ
上から 12 行目 ・合意書: → ③合意書
上から 14 行目 ・調達文書: → ④調達文書
上から 20 行目 ③組織体の環境要因 → ⑤組織体の環境要因
上から 25 行目 ④組織のプロセス資産 → ⑥組織のプロセス資産
- 378 ページ ①リスク・マネジメント計画書 → ①プロジェクトマネジメント計画書
- 398 ページ 表 ツールと技法 ②予備設定分析を削除(以降番号ずれる)
- 399 ページ 下から 18 行目
技術的パフォーマンスの → ・技術的パフォーマンスの分析:
②予備設定分析 → ・予備設定分析: (以降番号がずれる)
- 404 ページ 問題 11-2 設問文 リスク対策の実行 → リスク対応策の立案
- 425 ページ 表 右上 入札文書 2 行目 RFQ、 → RFQ、
- 482 ページ PMP 模擬試験<問題> 017 選択肢
D.データ分析として根本原因分析を行う。
→ D.作業結果の適合性を判断するために検査を行う。
- 526 ページ <解答と解説>023 Bは合意書ではなく → Cは合意書ではなく
- 527 ページ <解答と解説>035 C → D

□ 533 ページ <解答と解説>136 Cはトレーニング → Dはトレーニング

□ 535 ページ <解答と解説>184 を下記に差し替え

A: ステークホルダー登録簿に記載されているステークホルダーの役割と責任に関する情報と、資源マネジメント計画書に記載されているチームの役割と責任に関する情報も参照する。